# お宮参り用祝い着をご持参の方へのお願い

お宮参り（1ヶ月～3ヶ月）用のお祝い着と、七五三の着物は仕立て方が違います。お宮参り用のお祝い着は胸元に紐がついており、袖口は開いているのが特徴です。七五三の着物として着付けさせていただく場合、そのまま撮影をすると、胸元の紐が写りこんでしまったり、袖の中の襦袢が出てきてしまったりすることがありますので、「胸元の紐」は見えない位置（だいたい腰の位置くらい）にずらして縫っていただくか、紐自体を取り除いていただくとすっきりとした着付けに仕上がります。

## 紐の取り方

この部分の紐を
取り外します

取り付けてある紐の内側を
切り離します

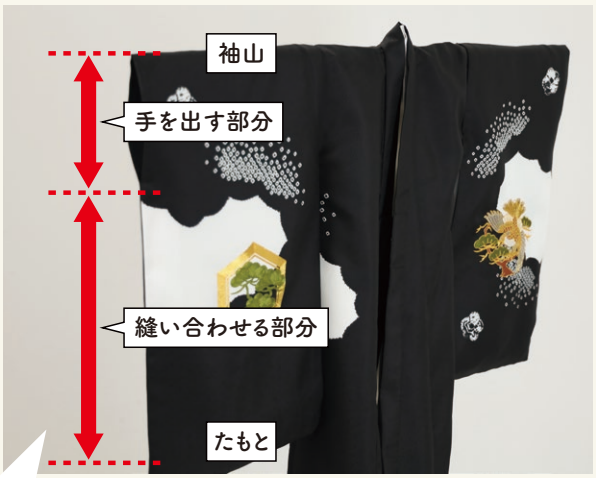
取り外した状態

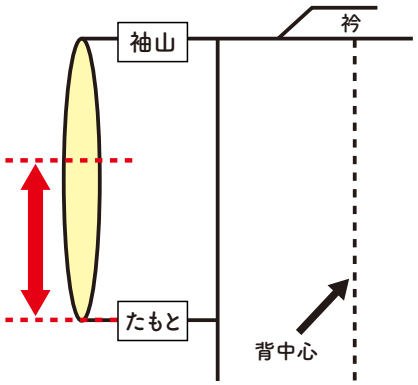
〈取り外した紐について〉
取り外した紐は、元の位置に縫い付ければ再び、お宮参り用の祝い着としてお使いいただけますので、大切に保管して頂くことをおすすめします。

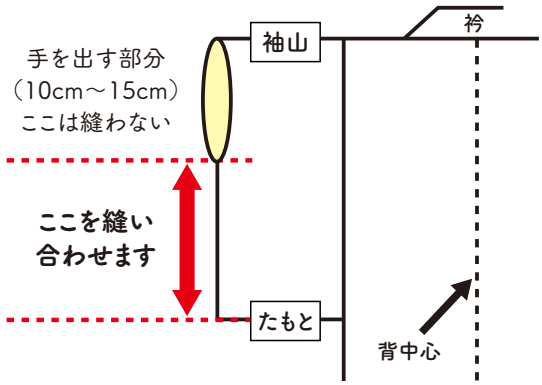
## 袖の縫いつけ方

※縫い糸は着物の色にあったものをご使用ください。

着物の袖は、そで口からたもとにかけて縫い合わせてあるのが本来の形となります。撮影の際も、たもとが縫ってあるときれいにお袖を整えて撮影することが出来ます。表から見て糸が目立たない縫い方で構いませんので、お手数ですが下記を参考に袖が開かないように縫い合わせてご持参下さい。




こちらでご紹介しました「胸元の紐の取り方」や「袖の縫い付け方」は、簡単に元の状態に戻すことができますので、代々受け継がれている大切なお着物なども、再びお宮参り用の祝い着として、お使いいただくことができます。また、必ずしも「紐が見えていてはいけない」、「袖が開いてはいけない」というわけではありませんので、そのままの状態で撮影をご希望のお客様はスタッフまでご相談下さい。